

1. 件 名：国立大学法人東京大学による核燃料輸送物設計承認申請に係る面談（9）

2. 日 時：令和元年10月11日（金）10時00分～11時00分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

石井企画調査官、高野上席安全審査官、甫出安全審査専門職、

宮坂安全審査専門職、松田技術参与

国立大学法人東京大学

大学院工学系研究科 原子力専攻 客員研究員

トランスニュークリア株式会社

技術部長 他1名

5. 自動文字起こし結果：

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

※一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

6. その他：

【事業者からの配布資料】

資料1 核燃料輸送物設計承認申請の一部補正に関する概要

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	それでは東京大学からの核燃料輸送物設計承認申請のホ一部補正に関する概要として、東京大学の方からの説明をお願いいたします。はい。東京大学の鈴木と申します。今日はこのタイトル、お手元の資料に書いてあるように、
0:00:23	一部補正経営を殴打相当いましてございましてその概要ということですね、事前面談ということで、お邪魔はしていただいています。
0:00:35	めくっていただいて、
0:00:38	これが金属ウラン燃料装荷時における収納物を表したものでございまして、
0:00:46	はい。
0:00:48	この容器のPCCVという容器の中にですね、ここに示してあるようなスペーサというものとそれから収納管というものをオハラに二つに分かれると
0:01:01	案ベースの収納管の中に良いの金属ウラン燃料が入る、こういう構造を今考えてございます。
0:01:10	これはあくまでもその収納物のをどういふふうにおさまるのかということでございまして前回お出した。この絵と違うのはですね、例えば
0:01:23	フィルムみたいなものが詰まっておったんですが、前は、そういうものは考えてございませし、それから収納管というの、これを見ていただくとわかりのように、いい構造が若干変わってきてます。今収納管に関しては、
0:01:39	米国と日本の間でもう決定して、これでいこうというふうになって、
0:01:46	です。
0:01:50	どんどん進めているんですか。はい。
0:01:57	この2ページ目も、2ページ目はですねどういふ燃料が形になるのかということでお付けしたものでございまして、燃料、今、燃料っていうのは、すでに切っているんです。
0:02:14	ここに書いてありますように、こういう赤線で書いたところ切断面なんですけども、ほぼそういう燃料がございまして、で、まさにこの、今まさにB燃料を切っている状態でございます、
0:02:29	昨日の段階で半分、
0:02:34	180 半分がですね、ここに書いてある部分が切れたということになってます。綺麗。それから出す日雲を終了したと今朝からは残り半分のピースを
0:02:49	切断に入ってます。
0:02:52	特に
0:02:54	今予定では1日2日ちょっと許認可手続き遅れたんですけども、2日遅れてスタートしたんですけども、スタートしてからは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:03:05	何て言うんですが計画通りなので切断が始まっています。
0:03:09	それから下のやつがC燃料の切断の絵でございまして、この診療のほうは、
0:03:16	こういうふうな形でKmとってます。
0:03:20	めくっていただいて3ページ目なんですけど、
0:03:25	これから安全解析における構造解析の結果でございまして、一般の試験条件は熱的試験設計温度設計圧力により評価を行った結果、許容応力を満足する。
0:03:37	水噴霧形状の変更変形等が生じない自由落下収納容器に変形は生じない一辺が10cmの立方体入るような行為を生じず、遮へい性能及び臨界蓋然性に影響を及ぼす形状の変化は生じない積み重ね試験類似容器による積み重ね試験によって輸送する変形は生じないと。
0:03:56	軸足抗力計算再評価し、料率をは95%となった。
0:04:01	で貫通ドラム動態に乙が生じるがくぼみが生じるが局部的であるため臨界安全性に球部スケジュールを変更したい。
0:04:10	4ページ目なんですけど特別の試験条件、
0:04:14	影響度落下試験19メートル落下原型試験後に密封性能は維持される影響度を落下試験Ⅱとして1名雑貨輸送物の健全性は維持されるね堰試験設計温度及び設計圧力より評価を行った結果、許容応力を満足する。
0:04:31	親戚計15メートル浸漬試験を行った結果、ミックス装置の健全性がいいされたかつ内部への浸水はなかったと。
0:04:41	前熱なんでございまして、一般の試験条件として一般の試験条件において、輸送物の構成部品はすべて設計基準を満足して発生する熱応力は軽微である。
0:04:52	最高温度で最大なやつは設計基準を満足する特別の試験条件特別の試験条件において輸送物の構成部品はすべて設計基準を満足する。
0:05:02	それから事前にいただいておた質問に対する回答としてですね、ここでちょっと御説明F補足説明を用意しております。6ページ目なんですけども、密封解析におけるモデル化なんですけど、
0:05:18	まず評価モデル
0:05:20	の妥当性ということがございまして、構造解析の結果から、一般及び特別の試験条件において密封性能は維持される。
0:05:27	ですから、
0:05:29	SCVの設定。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたので、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:05:32	試験条件ではPCVSCB特別の試験条件でPCBのみとすると保守的に収納物すべてやエアロゾル化したものとして扱う。
0:05:42	評価に使用する核種の設定なんですけども、収納される可能性がある核種として金属プルトニウム燃料及び金属ウラン燃料を考えてございますについて各種の被保護者の提訴値の比を求め、
0:05:56	2番として、寄与率の高い核種から収納限度まで収納し、合計ここに書いてあるような重量となるように設定する。
0:06:05	いう考え方でここを非表をですね、左から右見ていっていただけると収納限度というカラムがあり、お気づきだと思いますけども、その収納限度法で4000円。
0:06:21	すみません。量を考えてですね、次のカラムで評価に用いる核種重量っていうのが出てきて重量比が出てくると、この評価にも用いる核種重量を使ってですね、評価を行ってます。
0:06:38	7ページ目、遮へい解析における今度遮へいが再解析でございます。
0:06:44	一般の試験条件遮へい解析のモデルの保守性ということで、変形のところを御指摘していただきました。
0:06:52	変形へ収集の武装保守的線源として考えた場合ですね。線量率は距離の事業に反比例するため、一般の試験条件やれる変形量ドラム中央部の直径が[黒塗り]減少した事例が
0:07:09	ページ、
0:07:11	はい。
0:07:12	下の数減少しました。による影響は、解析モデル輸入最短距離を用いると
0:07:23	約4.8%の線量率の増加が見込まれ、
0:07:28	ただしですねその下に書いてあるんですけれども、線源設定による裕度ということをちょっとここで居住させてください。
0:07:37	実収納物勤続プロターミナルを想定した線源集を設定し統一モデルによりしゃへ海水を行うと輸送物表面でここに書いてある線量率になります。この与えはSR状の評価の約4分の1となることからですね。
0:07:54	一般の試験条件における者や解析モデルというのは、変形モデルを考慮せずとも十分載せ線源のほうにですね十分な安全裕度を有する解析モデルと考えてございましてですね。
0:08:07	それが社会解析のモデルの妥当性を
0:08:13	として、
0:08:15	強調したいと思っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたので、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:08:18	8 ページ目なんですけれども、線源仕様の設定じゃ何何をどうやったのっていうところがございますけれども、収納される可能性のある角度を一对一g当たりの線量当量率を算出し、寄与率の高い核種から収納現沼津収支合計工認書いてあるような重力波設定。
0:08:35	さっきと同じような考え方をとるんですけども、それで8 ページの右側の表の数字が書いてあると思いますけど、核種ごとにそれを使って車両解析
0:08:49	用いていると非常に厳しいところを周知を使ってる状況です。実際にはこの入れないのに、
0:08:57	それが遮へい解析における保守性の妥当性を示す。
0:09:04	次は臨界解析なんですけれども9 ページでございます。
0:09:07	臨界解析におけるモデルなんですけども、収納物。
0:09:14	まず、
0:09:15	それから
0:09:34	まず、
0:09:37	それぞれを評価して、最後にする。
0:09:41	継続場合には移送容器ですとかを30cmで囲まれた体系でございます。
0:09:46	ドラムの変形の有無によって経営計画という差は生じないが、変形がないモデルのほうがわずかに高いため、これつけにおいては変形しない。
0:09:56	配列系のほうで一般の試験条件ですけど、変形を考慮し、g安定を
0:10:02	7%減少。
0:10:04	特別支援教育変形。
0:10:13	さらにドラム半径は7%減少。
0:10:15	こういう
0:10:17	ことをモデル化してですね。
0:10:24	なるんですけども、ウランの場合のKFてるそれからプロと二倍の契約というのをお示ししましてですね。
0:10:33	両方の収納物ともっていうのは、
0:10:39	はい。
0:10:40	ということで、
0:10:44	で、これがモデルの妥当性、
0:10:57	これは、
0:10:59	じゃあ以上で御説明終了です。
0:11:15	訂正を入れなければ、
0:11:21	はい、わかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたので、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:11:25	3時40
0:11:28	今から言ってたんですか。
0:11:30	説明は省略させてください。
0:11:34	発言を訂正させて訂正させてください。
0:11:38	先ほどご説明した7ページの
0:11:44	ドラム中央部の直径が [REDACTED] と言いましたけどその数字は
0:11:52	非公開情報になりますので訂正差し押さえ
0:12:23	原子力規制庁のホデでございます。御説明ありがとうございました。
0:12:31	そうですね。今日ここでお示しいただいた、例えば1枚目とか2枚目のエイズ ってというのは、
0:12:44	また、
0:12:48	という前提でよろしいんでしょうか。
0:12:52	原子力工学専攻の鈴木です。はいその通りです。この1ページ目2ページ目 の塀をもとに申請書のほうを訂正したいと思っております。
0:13:07	ここです、了解いたしました。
0:13:11	はい。
0:13:26	計上でございます。構造解析とか邪魔熱はあまり関係ないと思うんですけど も、その来まここで言う金属ウラン燃料が落下とかですね、そういう
0:13:43	告示なり別記で定められている条件のもとで、どうだという事は言及されてい ないというところがございましてそこに対して例えば密封解析においてはエ アロゾルでやると。
0:14:00	いうふうなところと理解いたしました。
0:14:06	遮へいもこれは中で一応でしたっけ。
0:14:12	どう考えればよろしいでしょうか。
0:14:25	これ、
0:14:28	TRACENuclearモリタです。遮へい解析においてですね中で旧態ですね、 一応に置いたモデルになっております。
0:14:42	今のその9体で評価された。すいません規制庁のほうでございます。いろい ろなモデルを検討された結果、それが一番厳しいということが前提のもとでこ ちらに行ったという認識でよろしいですか。
0:15:03	すでにクリアモリタですはいその通りです。
0:15:06	わかりました。
0:15:23	規制庁のほうでございます。遮へいのほうの、 [REDACTED]
0:15:30	ごめんなさい、失礼しました。これ、これ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:15:35	訂正させていただき、いただきます今の辺りはちょっとあれだということでもいいですか。
0:15:40	えっとですねSAR状の評価が基準に対して非常に余裕がないということをお我々は懸念しております。
0:15:49	一方規則のですね例えばここで言うとなら67かな。七条規則の第7条の第2行かなにコウノいいだったと思いますけども、
0:16:06	そこでは基準に対してということと、著しい増加がないという話がございませす。
0:16:15	要は、ここの余裕がないというところがやっぱり気になるようになって、
0:16:20	ここで今回の増加率ということを見極めていただいておりますけども、この辺を踏まえて、ちゃんと実際の
0:16:34	補正をされるという段階ではシナリオをきっちり作っていただきたいと思います。
0:16:42	御説明の内容からして余裕があることは理解しております。ただし、その余裕のない値を正としてやるのであれば、やはりそこに対して、
0:16:53	この増加率を考えても、もうアウトになってしまうという結果になってしまいますので、これはやっぱり許容できないのでそこはきっちりシナリオに整合性があるように検討していただきたいと思います。
0:17:11	いやモリタ椅子を足もありました。
0:17:15	どうぞ。
0:17:17	これはいいか。
0:17:20	そうですね。
0:17:25	私のほうからは以上です。とにかく
0:17:28	ほぼ
0:17:29	要は、対象とされる燃料で何がチャンピオンなのかでそのチャンピオン選んだ上で結果がこうなのだとということなのか、はたまた双方を
0:17:44	今回の金属Aウラン燃料の場合と、
0:17:50	今、この容器のもともともともと言ったらおかしいですけどもスペックで計収納できる燃料核燃料物質として対応ができるというものととの比較で両方を載せるか。
0:18:06	そこはご判断判断は、事業者さんのほうにお任せいたしますけれども、その辺りですべて要は何を入れても、規則に対して適合していると網羅しているということの説明が明らかになるように、
0:18:23	訂正を定性補正をお願いしたいと思います。
0:18:30	令和モリタですかしこまりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたので、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:18:40	周知方法です。以上でございます。
0:18:48	規制庁のマツダです。この資料がそのまま
0:18:54	補正書に入るわけではないとは思いますが二、三ちょっと確認したいところがありますので1ページ目。
0:19:04	先ほどそういうなしと。
0:19:08	おっしゃったと思うんですが、
0:19:11	その場合はこの金属が燃料は特に固定もせず、この中で、
0:19:17	何か衝撃があれば動くというふうに会しておいていいんですか。
0:19:24	京都大学の鈴木です。今まさにその議を話を昨日もやってきたところなんですけども。
0:19:35	アメリカとしてはハの方なんて申し上げてですか。これを開館する
0:19:42	続いたときに買うの蓋をとることなしに、このまま溝がに入れることを考えてございまして、この中で、欠けが生じてようが運搬中に全く構わないという見解を持ってます安全性に全く影響ないと。
0:20:01	さりとしてつというふうかちょっとあるもんで。
0:20:07	ただそういう詰め物をするですとですねやっぱり賛成の部分が出てくるもんでから、
0:20:15	今ちょっと議論してる最中でして、ただ、今アメリカが日本に達しているのは、我々は詰め物を入れたくないと言っている状況でまだ決着しないと思うんです。
0:20:28	規制庁のマツダです。わかりました。次に2ページの
0:20:35	燃料の図なんですけども。
0:20:41	左下の図等はこれ、
0:20:44	何か図の書き方が、
0:20:46	ちょっと、
0:20:48	構成図の基本にのっとってないように思うんですけども、
0:20:54	平面図で出てるφ18とかφ10とか、
0:20:58	それが下の図になるとないんですけどね、これどういうふうに見たらいいんですかね。
0:21:29	クリヤマモリタです。ご指摘の点ですねまずイメージ図として書いたのもそのせいぜいというイメージといやわかりやすいようなイメージとして書いたものになるんですけれども、下のボルトのところですね、のざぐりのところはφ18、
0:21:45	でしたの細いところがファイルという形になるので、ちょっとこちらずわかりやすいように修正いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:21:53	町のマツダです。わかりました。誤解を招かないような図にしておいてください。
0:22:02	それからなあ。
0:22:07	6 ページなんですけど。
0:22:14	下の表D評価に用いる各種重要のところの
0:22:20	その上から 2 番目三番目の図にアスタリスクがついて統合しますけども、意味の説明がないんですが、
0:22:32	これはどういう
0:22:36	ことですか。
0:22:38	TRACEに空冷モリタです。その* すいませんねと地絡自体を開花と記載漏れなんですけれども、ちょっとアスタリスクがついてる核種その二つの合計です。そこに書いてある数字までが収納限度になるんですけれども、保守的にそれぞれマックスまで入れたというので、そういったストレスがついたものになります。
0:22:59	町のマツダです。補正書では、その辺、
0:23:04	問題がないように書いておいてください。
0:23:10	それから 7 ページですけれども、
0:23:14	これもう、この資料だけの話で補正書にはちゃんと書いてあるんだろうと思いますけれども、
0:23:20	線量ですという言葉が出てきますが、
0:23:24	法令等では線量率という言葉ないので、
0:23:30	線量当量率かまあ、実効線量か。
0:23:35	どちらかをきちんと書くようにしてください。
0:23:43	いやモリタです。かしこまりました。
0:23:48	規制庁マツダです。8 ページですけれども、
0:23:53	左の表で、
0:23:56	各社に下線が引いてある核種があるんですが、
0:24:01	この意味は何ですか。
0:24:05	それから右側の上、
0:24:08	表だと、上から二つ目の核心になんか書いてあんですけど、これは何を意味しているんですか。
0:24:28	フランスにクリアモリタです。左の表の下線部のところはですね 60mを超えるエネルギーの線を多く有する核種というの指定図示したものになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※ 3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:25:11	トラスにクレームですね右の表のAについてはですね収納限度に対して中途半端な数字になってるんですけども、最後の調整でですね、そこを調整して種の限度の量にしたというので中途半端な数字になっているという説明のですね。はい。
0:25:29	規制庁マツダです。わかりましたがその辺は補正書ではきちんと書いておいてください。
0:25:39	ただし、幾らモリタですかしこまりました。
0:26:35	今のTRACEに倉持さんの発言の中で一部修正させてください。説明中、図面の表記がですね、正確じゃないっていうところで、
0:26:50	ぬい幾つっていうようなサイズにも関わる発言あったんですけど、そこはなしとさせていただきます。お願いします。
0:29:16	規制庁法でございますと8ページのところでですね、先ほどちょっとご説明いただいた功労なんですけど、と思うんですけども。
0:29:28	そもそもですねここで記載されている通常一般の試験条件かのようなは
0:29:38	各種の重量とですね、特別の試験条件下での各種の重量がですね相違するっていうのはなんか非常に
0:29:50	受け入れにくいんですけども、
0:29:54	うん。なぜこうしなきゃいけないんでしょうか。もう1回も説明いただいたかもわかりませんが、ぼどっかのそのもう一つの核種なんか見てる見てないとかですね、この辺入ってるものは一緒に、事情として受けるのは同じ文言が入ったときに一般の試験条件を受けたりんなったりのもとに置いたり特別、
0:30:14	試験上限管理なったりするんで、こういうところでコロコロ数値が変わるっていうのは非常にシナリオ上、要は安全性の説明を受ける上で非常にキーに思えるんですけども、こうしなければいけないという
0:30:29	こうしたということのちょっと根拠について御説明していただけないでしょうか。
0:30:40	クリアモリタです。今ご質問あった件ですねまず一般と通常一般と特別で核種が違うという話なんですけれども実際申請者別紙のほうの附属としてでも御説明させていただいてるんですが、
0:30:56	モデル自体がですね、変わってくるものになるので、実際解析をしたときに厳しい結果が出るものっていう各社順番が左の表を見ていただくとわかるんですが、少し入れかわるものがあります。それを踏まえた上で、容器に入るMAXとどうか一番厳しい条件の
0:31:16	ものを一般飛ぶ通常特別それぞれで設定したので入れる核種自体が変わってくるという設定のやり方でやってます。
0:31:32	御説明は理解しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:32:38	規制庁コウノです。今の説明に対してですねは丁寧にSrのほうでは記載をしていただくということをお願いいたします。誤解のないようにですね、記載をしていただくとしたら数値だけ書かれておりますと、
0:32:55	内容がどうなってるんだということで、誤解を受ける可能性がありますので、その辺は、繰り返しになりますけど、少し丁寧に御説明をいただくような記載にしていきたいと。
0:33:13	この東京大学の鈴木です。かしこまりました。
0:33:27	すみませんそもそものお話で、規制庁ホデでございます。そもそもの話なんですけれども、今回の金属ウラン燃料ともとのこの容器の設計ベースというところでですね金属プルトニウムと、
0:33:45	いうものをか、今回
0:33:51	そこでシナリオ作るということで御説明いただいておりますけれども、
0:34:00	もっと容器自身のもとのそのすべからいきますと、要はプール。
0:34:06	導入部酸化物というものもあったというふうに記憶しております。これに対してですね例えば、
0:34:17	例えばこのもとのベースで考えると、遮へいって遮へい解析とかであれば、金属プルトニウムのもとのプルトニウムを酸化物というふうなところがAをやって厳しい厳しいとおかしいですけども、
0:34:34	その辺に対してそれぞれ評価されていたと思うんですけども、今回そのプルトニウム金属プルトニウム等、
0:34:43	要は、
0:34:46	今回の金属ウラン燃料ですね、ここにあるメッシュ絞った形で要は安全解析書のが構成されるというふうに認識しているんですけども、その辺りでシナリオが変わるとか、
0:35:03	要は、要は待機チャンピオンというか、解析対象能力を示す上ではプールと金属プルトニウムでいいというふdで今回のもの金属ウランをもこれに入れると。
0:35:19	いうふうなことで
0:35:22	前解析のシナリオが構成されると思ってよろしいんでしょうかね、従前のそもそものもとの考え方とは、その辺でどう関わってくるというふうなところはないでしょうか。
0:38:00	はい。抱いたと
0:38:03	※コメント。
0:38:05	TOWA、拝承してですねオフシナリオ上を不整合がないような申請書を作ります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:38:24	規制庁の石井です。簡単な質問で一つお願いしたいんですけども、8ページの右側の表で、
0:38:33	そもそも数値が入っていないのに核種として挙げられている。
0:38:39	ものがあるんですが、その意図はどういう意図でしょうか。
0:39:04	えーとですね、
0:39:07	東京大学の鈴木です。ちょっと表が十分完全じゃない部分があるところあるんですけどもご存知のように4地点にアームプルトニウムの日本一と余りに41っていうのはですね、放射平衡になりますんで。
0:39:23	なんて申し上げたとか合わせて架空場合とですねこういうふうに分けて書く場合があるわけなんですけども、これから見るとですねご指摘のように、数値が入っていないのに何で隔週回転のっていう御疑問が出ますので。
0:39:41	ちょっとそこは修正してですね。
0:39:48	提出したいと思ってます。
0:39:52	トランスに空冷モリタでちょっと1点補足させていただくと数字がなくて各社が書いてあるもの、これの理由がですね、もともとの収納する、一緒とか書いてある。
0:40:03	各種の収納すべき種の入るべき核種の中に入っているものなので、それがないよという意味で、一応記載はしているものです。先ほど東大の鈴木さんがおっしゃった通り、不要といわ不要になるので、ちょっとそこは記載を見直してですね、わかりやすいように書かせていただきたいと思います。
0:40:25	頂上イシイです。よろしくお願いします。
0:40:40	規制庁のマツダです。関連して、今の表で、
0:40:48	各数名
0:40:51	によるジャメDのお話をされてんだと思うんですけども。
0:41:00	例えば通常と一般の方で日本一網の十条が書いてないんですけども、その左側のほうで、
0:41:11	日本一雨Dは企業順番で言うと、
0:41:15	6番目にんですね。
0:41:18	その下の7番目にある。
0:41:22	ニイさんの熱郭つつうが
0:41:24	この右側のほうでは書いてあるんですけども、
0:41:29	そうすると、
0:41:31	はい。
0:41:33	企業順。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。

0:41:34	不法も何か少し、
0:41:39	見直しが必要じゃないかなと思うん思えるんですが、この辺はいかがですか。
0:41:51	Nuclearモリタです。今の御指摘の点、再度確認してですね整合がないようにしたものを補正申請で出させていただければと思います。
0:42:03	規制庁マツダですか。よろしくお願いします。
0:42:35	今回、
0:42:39	だから、ちょっと表が、
0:42:44	集め以上みたいなね、
0:42:46	現在、ネットワークにおいて成功状態でございますから、
0:42:52	はい。
0:42:54	外しちゃってるんで。
0:43:05	規制庁のほうでございますそれも逆に申請図書の中でですね、ちゃんと説明されていけば、いいと考えますけれども、ちょっと
0:43:20	どちらかと工学的な話でちょっとお伺いしたいんですけれども、
0:43:24	遮へいで考えたときにプールに応じてほとんどきかないですよ。どうせ凡か出さないから、ここであまりであれば当然 60mぐらいのガンマ出します。何だであれば、むしろ
0:43:39	考え方としては、プールに余市は遮へいには寄与しないと、逆に両Eで逆に置き換えるということで放射平衡とき、14年ぐらいの半減期で作るものですからそこでどうするっていうんであれば、
0:43:56	どっちかで100%でやるとかですね、いうふうな説明のほうがでやるべきではないかというふうにも思えるんですけども、その辺はちゃんと説明、それぞれ考えたことに対してこう考えておけば問題ないという御説明をしていただければと思います。
0:44:16	トランスにクレーンモリタです。かしこまりました。
0:46:11	規制庁コウノです。今までいろいろ、ちょっと説明受けた中で、使ったかと思うんですけども、補正にあたってはですね、数値の整合等をよく確認していただくということ。また、その
0:46:28	説明があるのであればですね、それを丁寧に書いていただくと、それから、シナリオなりストーリーになります。その辺は丁寧に、できるだけ丁寧にですね、誤解のないように記載いただくということで見直していただければと思います。
0:46:44	ほかに何かございますでしょうか。
0:46:49	なければ、本日の核燃料輸送物設計承認申請の一部補正に関する説明を終了いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っております。